

# 雨水出水浸水想定区域にかかるQ&A

番号	質問	回答
1	現行の内水ハザードマップとの違いは何ですか？	平成28年3月に公表した現行の内水ハザードマップについては、平成26年8月豪雨の浸水実績をもとに作成しています。 今回公表する雨水出水浸水想定区域図については、想定最大規模降雨による浸水状況をシミュレーションにより表現したものであり、対象とする雨の強さや作成方法が異なります。
2	平成26年8月豪雨より強い雨を想定しているのに、現行の内水ハザードマップより、浸水深が小さくなっているのは何故ですか？	雨水出水浸水想定区域図は、外水（河川からの溢水等）を表現していませんが、現行の内水ハザードマップは、当時の浸水状況を表現しているため、外水による浸水についても表現されていると考えられます。 また、平成26年8月豪雨を受けて整備を行った施設（ポンプ場、貯留施設等）の効果が発現されていると考えています。
3	過去に浸水が発生した場所について、浸水が表現されていないのはなぜですか？	シミュレーションにおいて表現されているのは排水施設の能力超過等による浸水であり、水路の閉塞に起因するような浸水等は表現されません。 また、外水（河川からの溢水等）についても表現していませんので、過去に浸水が発生した場所について表現できていないことがあります。
4	雨水出水浸水想定区域に指定されるのが、市街地の一部なのは何故ですか？	今回、雨水出水浸水想定区域を指定する区域は下水道法における事業計画区域であり、これまでに公共下水道による浸水対策を実施した地区や実施中の地区になります。 雨水出水浸水想定区域については、公共下水道等の排水施設で雨水が排除できなくなった場合に浸水が想定される区域であることから、公共下水道の雨水排水施設の整備が進んでいる事業計画区域を対象としています。
5	雨水出水浸水想定区域以外の場所でも浸水が表現されていますが、雨水出水浸水想定区域と何か違いがあるのですか？	雨水出水浸水想定区域とは、シミュレーションの手法が異なります（簡易シミュレーション）。 雨水出水浸水想定区域として指定は行いませんが、想定最大規模降雨による浸水リスクをご確認いただくため、シミュレーション結果を明示しています。

番号	質問	回答
6	何のために雨水出水浸水想定区域の指定を行うのですか？	<p>国及び府の管理河川については、これまでに洪水浸水想定区域が指定・公表されその水害リスクについては明らかにされています。</p> <p>近年、水害リスク情報の提供を行っていないエリアについて、多くの浸水被害が発生している事を受け、水害リスク情報の空白域を解消するため、その対象が公共下水道にまで拡大されました。</p> <p>内水による浸水については、発生条件や発生場所が洪水による浸水と異なるため、それぞれの条件による浸水リスクを明らかにすることで、浸水発生時の円滑かつ迅速な避難を確保し、被害の軽減を図ることを目的としています。</p>
7	雨水出水浸水想定区域が指定される事でどのような事が必要となりますか？	<p>福知山市において今後、地域防災計画に洪水予報等の伝達方法、避難場所、避難経路、避難訓練の実施に関する事項、要配慮者利用施設、大規模な工場等の名称・所在等を定める必要があるほか、ハザードマップの作成・配布が必要となります。</p> <p>※地域防災計画へ位置付けられた要配慮者利用施設の管理者等は避難確保計画の作成が義務化されます（大規模工場等は努力義務）</p>